



世界に希望を生み出そう

Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：長澤 裕二 幹事：三沢 大介

地区目標 ロータリーを語ろう そして ロータリーを楽しもう

クラブテーマ 新会員を育てながら、ロータリーを楽しもう

- ◆点鐘：長澤 裕二 会長 ◆ロータリーソング：国歌・蔵王を仰ぐ
- ◆司会：武田 秀和 S.A.A. ◆会場：山形グランドホテル



第3007回例会 令和6年3月4日(月)

会長あいさつ

長澤 裕二 会長



『ゴールド・ボーイ』という映画の話です。原作が中国で、日本の沖縄で撮影しました。監督も日本人です。原作は中国であった話ですが、日本に持って来て日本の話というふうになっています。でも、中身はやっぱり日本と違う。やっぱり中国人だなというところがあります。国民性というのそういうのに出るんですね。決してお勧めするという映画ではないのですが、でもすごく、私はほんとに振り回されたんですね。ひどい所に連れて行く映画です。これは途中まですごい大傑作かと思って見ていました。決して勧められる映画ではないです。でも、すごい体験ができます。

韓国映画は日本で結構公開されていて、時々見て日本となんでこんなに違うんだろうと、しつこいなというくらいやりすぎなところがあるのですが、中国はもっと、もっと色々すごいですね。映画は日中合作ですけど、そんな印象を持ちました。8日からやります。お時間のある方はぜひ。

韓国映画は日本で結構公開されていて、時々見て日本となんでこんなに違うんだろうと、しつこいなというくらいやりすぎなところがあるのですが、中国はもっと、もっと色々すごいですね。映画は日中合作ですけど、そんな印象を持ちました。8日からやります。お時間のある方はぜひ。

に見舞金20万円、地区から要請されていましたが支援金30万円をお渡ししていることを報告いたします。

- 3月8日、今週の金曜日になりますけれども、高知南ロータリークラブの歓迎例会を開催いたします。高知南からは21名の会員の方が来県されます。会場はパレスグランドとなりしますので、参加される方はよろしくお願いたします。
- 本日の例会終了後に理事会を開催いたします。理事担当の方はお残りくださいますようよろしくお願いいたします。
- 今月のロータリーレートは151円です。



武田良和さん



浦山潔さん

幹事報告

三沢 大介 幹事

- 本日は新会員の方が来られております。高橋勝彦さんです。よろしくお願いいたします。
- 武田良和会員のほうに米山功労者第2回マルチプル表彰が来しております。会長のほうからお渡しください。
- 浦山潔さんのほうに第1回米山功労者の表彰が来しております。浦山さん、前のほうにお願いいたします。
- 米山奨学生のチャンピンさんが、本日の例会をもって最後となります。チャンピンさんのほうに奨学金のお渡しと、ご挨拶のほうをよろしくお願いいたします。
- 能登半島地震において皆さまに募金をお願いしていただきましたが、合計で33万5,000円集まりました。皆さまからの温かいお心遣いありがとうございました。基金の一部を使わせていただきまして、金沢西ロータリークラブ

委員会報告

広報雑誌委員会

本日、皆様のお手元にあります『ロータリーの友』、25ページの「ガバナーのロータリーモメント」というところに、去年の秋に行われました7ロータリークラブのときの伊藤三之ガバナーのコメントが入っております。その写真に当クラブの佐藤充昭さんと高橋順弘さんが載っておりますので、ご覧いただければと思います。

親睦・家族委員会

会員10名、奥様が10名、3月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

新入会員のあいさつ



高橋 勝彦 さん

[株式会社タカハシ電工]

今回は、歴史と伝統のある山形西ロータリークラブにご推薦いただきまして、入会することができました。誠にありがとうございます。

諸先輩方のほうに、私もお世話になった山形青年会議所の先輩方もいらっしゃるということで、少しは安心していきます。山形西ロータリークラブさんの規則、約束事がいろいろあると思いますが、まだ右も左も分からない若輩者でございますので、先輩からご指導ご鞭撻いただきながら頑張らせていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

奨学生からのひとこと

○チャンピオン奨学生より

今月をもって私の4年間の大学生活が終わり、例会への参加も本日です。1年間、皆さんにはいつも温かく接していただき、大変お世話になりました。

今年度は、卒業に向けて卒業論文の作成を進めてまいりました。そのような中で奨学金をご支援いただいたことで、研究に専念した結果、無事に自分で納得できるものを完成させることができました。その結果として、皆さんのテーブルの上の24ページの外国人向けの防災パンフレットを作成しました。現在、約900部を山形県の各国際交流団体に配布する予定です。山形の在住外国人の皆さんに活用していただくことを願っています。

私は卒業後、オーストラリアへ語学留学に行こうと考えております。当初はすぐに兵役に行く予定だったのですが、入隊するまでの手続きなどで時間がかかり、もう少し時間をとって、英語を勉強したいと思っています。

支援して下さった山形西ロータリークラブの皆さんへの恩返しができるよう、感謝の気持ちを忘れず、これからも努力を積み重ねていきたいと思っています。1年間本当にありがとうございました。



ゲスト卓話



観光による地域づくり

鷺見 孝 さん

[一般社団法人やまがたアルカディア観光局 専務理事]

それではまず質問です。会長、山形市の人口は令和6年2月で何人でしょうか。(会長:「24万」) はい。24万2千人ですね。では令和5年2月、1年前の人口は何人でしょうか。今年の2月は1,400人減っています。大体毎年山形市は1,000人以上減っているんですね。国の統計上、1人あたり年間130万円消費すると言われていています。130万円に1,400人掛けると、とんでもない金額、年間18億円ですよ、山形市の中から消費が消えているんです。

なぜ観光と今の話が関係あるかと言いますと、皆さんはいろんなご商売をされていると思いますが、特に観光業も含めて観光に関係ない会社も消費額が毎年18億円減っている中で、皆さんの会社に売上が減る要因がものすごく毎年あるわけですね。それで国はそれの1つの対策として「地方創生」という言葉を使って人口減少、少子高齢化の対策に観光が1つの助けになるんじゃないか、ひょっとしたら観光という切り口だけでも、旅行業に携わっている方、宿泊業、交通業、飲食業に携わっている方だけでやっているだけでは、その町、そのエリア、山形県は向上しないんじゃないか。それに向けて、例えば観光庁の交付金とかいろんな経産省も含めて、観光庁の交付金は今ものすごく潤沢に出ています。お手元に資料をお配りしましたので後ほどゆっくりご覧ください。

観光庁は今現在、下の地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの司令塔となる法人として観光地域づくり法人、DMOという組織を積極的に推進しています。DMOは、Destination Marketing Organizationという略なのですが、日本語に訳すと観光地域づくり法人、そして下の四角の中で当然、右のところにある交通事業者とか下のほうにある飲食店・宿泊施設は当然のことなのですが、左のほうにある商工業、農林漁業、国立公園とかですね、直接観光に関係ないと思われるところも一緒に巻き込んで、それをDMOが仲介役となって首都圏もしくは全国、もしくはインバウンドと呼ばれる海外から人を呼び込まないと、地方誘客、旅行消費拡大によって観光による受益が広く地域に渡り地域全体を活性化すればその地域の地盤沈下は防げるんじゃないかというところで一生懸命観光庁はこれを推進しています。

長井市にタスパークホテルというホテル、今私が社長をやっていますが、市の公共施設になっています。国の、こちらは内閣府の創生交付金というやつで、今はデジタル田園都市国家構想交付金なのですが、17億円の交付金をいただいて、今、36年ぶりのリフォームをしています。結果、4月11日以降、タスパークホテルはまったく生まれ変わりますので、ぜひ皆さん、4月以降、1度長井までお越しください。サウナもあります。それから1億円かけて作った京都の茶室もございます。すべて揃って

いますので、1度ご見学ください。

このDMOと言う前に、皆さんの地域に観光協会がありますよね。でも観光協会というところが観光の旗を振ってやるんじゃないの、というのが今までありましたが、観光協会は加入者、組合組織ですので、例えばA社、B社、C社があるとして、その地域のおいしいラーメンをお客さんから聞かれた時になんと答えますかと言ったら、観光協会ではA社、B社、C社、全部書かないとケンカになっちゃいますね。でもDMOは「ほんとおいしいのはA社です」と言い切って、B社、C社にはごめんなさいと言って本当に消費者が喜ぶCMをちゃんとできる組織かどうか。

観光協会はそれが、もし観光協会関係の方がいらっしゃれば申し訳ありませんけれども、今の実態は限られた運営費で人手が足りません。それからイベントが毎年目白押しですからそれをこなすだけで手いっぱい。ほとんどボランティア活動に助けられていて、役職者は名誉職に近いので実務には携わず、毎年同じことを繰り返しながら行政から助けられて、限られたお金でやり繰るのが精一杯。じゃあ観光協会はそれでいいんでしょうか。来てもらうための観光地プロモーションにまで手が回っていません。地域における商工業者間の合意形成は行われていますけれども、PR、知ってもらう、来てもらうためのマーケティング戦略・戦術を立ててPDCA、最近はOODA、ウダと言われるようですが、サイクルで推進していくような仕組みを目指す必要があるのではないのでしょうか。

商工業者と行政の密接な連携も必須であります。山形で言いますと、おもてなし山形さんとの連携というのはできているのでしょうか。おもてなし山形さんはDMOですよ。

そして、他の先進事例から学ぶこととして、地域が一丸となって将来のあるべきビジョンを共有する。お手元に配りましたやまがたアルカディア観光局の冊子を開いていただきますと、真ん中に縦にミッション、ビジョン、ブランドコンセプト、それからターゲット、KPI、すべて書いてあります。われわれは10年、20年先に自分たちの子どもたちにアルカディアエリアを残したいという若い世代の意見を取り入れてミッション、ビジョンをすべて作成しました。ありがちな広告代理店、大手の電通さん、博報堂さん等の広告代理店には頼まないで地元の若い人、30代、40代の経営者に来てもらって自分たちはどういう町にしたいか、という結果、こういう標語が生まれました。そういうものがあるかどうか。

それから今はインバウンド、インバウンド。山形市内、山形駅は特に外国人の方をよく見かけますが、県南、置賜地域ではまだまだ来ていません。東京以西、特に四国・九州あたりはもう外国人だらけと言われている中で、じゃあ山形市、皆さんどれくらい外国人をご覧になるのでしょうか。蔵王と、これからは山寺をご覧になるかもしれませんが、それ以外に本当にテレビで言われているくらいインバウンドが来ているのかどうか。インバウンドがいらっしゃると、案内看板、ありません。メニュー、ありません。ベジタリアン、ビーガン料理、対応していません。風呂やトイレは共同では嫌がります。というのを解決するために講習会をやらないといけな

い。それは誰がやるんですか。オーバーツーリズムが今は京都とか叫ばれていますけど、今、これから来てほしい山形県でも、オーバーツーリズムになった時にはどう対応するかというの今から準備をしないとイケません。それからプロフェッショナルガイドも要請しないとイケません。山寺にはYamaderansというガイドがいらっしゃるとお聞きしますが、そういった方たちが各所にいらっしゃるかどうかで旅人の次回来る・来ないの評価が決まります。それで地域内で回遊してもらってお金を落としてもらって魅力づくり、モデルコースを提案できていますか。お客さん任せにしていたら、蔵王は知ってる、山寺は知ってる、ほかは知らないからもう仙台に行く、福島に行く、もしくは東京へ帰る、となっちゃうわけですね。ちゃんとエリアで、日帰りだったら日帰りでもほかに寄る場所を提案できているか。できればナイトエコノミーと言いますけれども、泊まっていたらとさらに客単価が上がるわけですし、1泊2日、25,000円から30,000円と言われています。日帰りですと7,000円と言われています。お1人当たり。この金額が大きく変わってくるので、その地域にちゃんと滞在していただく仕掛けが観光協会ですべてできていますか。

広域連携はすごいスピードで進んでいます。山形県は庄内、村山、最上、置賜、4支庁でそれぞれ4エリアががんばっています。と、県はおっしゃいます。ですけど、四国はオール四国、北海道はオール北海道、瀬戸内はもっと広い瀬戸内7県で広域観光をして今どんどん人を呼び込もうとしているわけですね。日本国中の人、インバウンドの人、すべてそうなのですが、それを村山で、最上で、庄内で、と言ってる場合ではないんですよ。それはそれで大事なことです。細かいところにちゃんと入っていただいて、観光政策を持っていることは大事なのですけれども、県として人を呼び込めていますか。今現在、去年の12月データなのですけれども、47都道府県のうち、山形県は旅行客数、何位でしょうか。39位です。39位で、よく言われるのは、「山形県、伸びしろありますね」と言われるんです。伸びしろだらけです。ですけど、ほかの都道府県はもっと早いスピードで進化しているわけです。山形県のスピードはそれを上回らないと追いつき追い越せないんです。東北6県は皆さん伸びしろはいっぱいあるのですが、山形県は今のスピードだったら到底39位から上には上がりません。だから今申し上げたようなことは全部ガンガンやっていくという態勢にするためにも、私は観光協会批判をしているのではなくて、いろんな業者さんが一体となって、行政もしかり、商工団体もしかり、それからこういったロータリーもしかり、観光業者は当然、皆さんが一緒になってエリア戦略を組まないといけません。その母体がおもてなし山形でできていますか、というのを皆さん、問題意識を持っていただきたいと思います。

もうアルカディアというのは申し上げるまでもないので、イザベラ・バードが通った道ですけども、2市3町、長井市にはこういう絶景があります。三淵渓谷といえます。左側。それから南陽市は13号線の鳥上坂、あそこからパラグライダーが飛びますけれども、あの上、十分一山という山から見事に南陽の町を見下ろせる。右側は、わかりづらいですけど、吾妻連峰、飯豊連峰を見なが

ら、頂上から見ているのですが、足元は雲海です。皆さん、ネットで、スマホで「雲海」と見てください。そうすると雲海出現マップというのが出てきます。雲海出現マップは三菱自動車が運営されているのですが、そこにこの十分一山が出てきます。それほど有名なスポットです。十分一山は、その横にある高ツムジ山のほうが標高が高いので、紹介は高ツムジ山になっています。

白鷹は紅花畑、飯豊町は皆さんご存じかもしれません、中津川の水没林。それから飯豊連峰。小国町は梅花皮荘（かいらぎそう）の雪見桜、というのが四季折々にあります。地元の方たちは「置賜にはなんにもねえ」とおっしゃるのですが、こんなにいっぱいあるじゃないですか。首都圏からいらっしゃる方はみんなびっくりします。そして人は優しい。食べ物はおいしい。飲み物もおいしい。そういう恵まれたところをちゃんとうまくPRできていないというのが、ひょっとしたら、特に県南、置賜地区かもしれません。それで、やまがたアルカディアエリアで体験できるのは、農家レストランなんかも体験できますし、獅子まつりなんかも体験できる。

それでKPIという国に申請するデータもちゃんと揃えて、コロナ禍で予算どおりの数字には達しませんでしたけれども、着実に上向いています。そしてPRもちゃんとする。それからこういうふうに宿泊者調査もして、年々いくらの効果があるかという経済効果も測った上で、域内の皆さんに数字を紹介しています。旅行消費額調査、それから来訪者満足度調査、それからポータルサイトアクセス数。ホームページやSNSはいっぱいやっています。ですけど、年々それが増えているという傾向にあります。

われわれ編集は地域の季刊誌を年に4回発行していますが、写真も現地の写真家、ライターも現地のライター、印刷も現地の、山形県の会社ということで、すべてメイドイン山形にこだわって作っています。旅行雑誌じゃなくて読み物としてインパクトのある、何か手に取って見たくなる画像というのを意識して大変ご好評をいただいています。読み物としても読みごたえのある内容になっています。それからガイドブックもいくつか整備しています。

また、お神酒なんかも開発したのですが、これは南陽の熊野大社で人気商品の1つです。巫女さんになる体験、巫女体験。これはお1人1日8千円なんですけれども。これを募集するとすぐその日に埋まってしまう人気商品です。この写真の女性も実際にお越しになったお客さんをお願いしてモデルになっていただいて、モデル代はただという仕組みになっています。

それから長井市に熊野山というのがありますが、標高600メートル、そこを5月の初め、田んぼに水を引いた時に、午前3時、夜明け前に登り出しまして、午前6時、夜明けを見ると赤い色に染まるという商品も大変人気でして、これもすぐ売り切れる商品になっています。こういった絶景が見られるわけですね。キーワードは「少人数」です。今や団体旅行は昭和の話でして、5人、4人、

3人、このツアーは大体12~13人なのですが、そういう小旅行で仲間と参加する、もしくは気の合う人と参加する、同じ趣味の人と参加する、そういう旅行商品が大変人気になっています。

小国はもう言うまでもなくブナの森ですよ。ここで森林セラピー体験をする。ヨガ体験をする。

長井市では水陸両用バスなんかもやっています。これも人気商品です。それと秋には遊覧船、遊覧船の中でお食事をいただく。それからサップ、水上自転車なんかもやっています。一番人気の白川湖の水没林、白川湖カヌー体験。三淵渓谷のカヌーツアーなどなど、アクティビティはもう山ほどありますけれども、農家で収穫体験なんかもやっていますし、いろんな目的で体験を造成してお客さん呼び込むということをやっていますが、私は今日何を皆さんに申し上げたかったかと言いますと、地域で固まって観光業以外の方が参加しないとお客さんをおもてなしする町の雰囲気にならないですよ。6年前、7年前、酒田市はクルーズ船の寄港地でナンバーワンに選ばれた。その時の理由は、町に買い物に行ったら住んでいる人、すれ違う人、みんながウェルカムしてくれて、笑顔で言ってくれた。だから酒田はナンバーワンという評価になったんです。それを皆さん、旅行業じゃない方が意識せずに言えていますか、山形市はどうか、ということをお客さんに問いかけて、今日何かお考えいただくスタートになればということでお話をさせていただきました。ご清聴ありがとうございました。

ニコニコBOX

〈3月4日〉

長澤裕二会長／肉離れ、治りました

先月21日に右足を肉離れしましたが、ほぼ治りました。昨日スキーしましたが、ちゃんと滑れました。ご心配をおかけしました。

三沢大介さん／12年ぶり開催の3ロータリークラブ合同例会

12年ぶりに開催されました3ロータリークラブ合同例会。とても楽しい時間を共有させていただきました。準備いただきました友好クラブの皆さま、ありがとうございました。

富田浩志さん／心より感謝申し上げます

鷺見さんをお招きいたし、観光と地域づくりの卓話に心より感謝申し上げます。国際的、国内的にも見識の広い鷺見さんのお話、いつもためになります。

小野木健治さん／長女の卒業を迎えて

3月1日に末っ子の長女がめでたく西高を卒業しました。大学も神奈川県に決まりました。少女から成人になり、今後の人生に幸あれの思いでニコニコいたします。

本日出席 (3 / 4)	会員総数	出席会員数
	102名	61名